

平成三十年学力検査

全日制課程 A

第一時限問題 国語

検査時間 九時十分から九時五十分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注 意

- (一) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (二) 「解答始め」という指示で、すぐ受検番号をこの表紙と解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (三) 問題は(1)ページから(9)ページまであります。(9)ページの次からは白紙になっています。受検番号を記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。
- (四) 答えは全て解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (五) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。
- (六) 「解答やめ」という指示で、書くことをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

受検番号

第

番

国語

一 次の文章は、今から約四十年前に、哲学者の田中美知太郎によって書かれた随筆である。これを読んで、あとの(一)から(五)までの問いに答えなさい。

1

著作権に配慮して掲載を控えています

2

3

4

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

(田中美知太郎『日本の名随筆 別巻45 翻訳』による)

(注)

- ①⑥は段落符号である。
- 鷗外おうがい 森鷗外のこと。
- 『即興詩人』 Ⅱ アンデルセンの小説。
- 学会 Ⅱ 同じ分野の学術研究を目的とした研究者の団体。
- プラトン 翻訳 Ⅱ 古代ギリシャの哲学者プラトンの作品の翻訳。
- インド・ヨーロッパ語族 Ⅱ 東はインドから西はヨーロッパ大陸にわたって広い範囲で用いられている多くの言語の一群のこと。
- アーベルト Ⅱ 十九世紀のドイツの哲学者。
- ジョウエット Ⅱ 十九世紀のイギリスの哲学者。
- 慨然がいぜん Ⅱ 驚きあきれて、ぼう然とするさま。
- 目する Ⅱ 評価する。
- 将来させる Ⅱ ある状態をもたらす。

(一)

① にあてはまる最も適当なことを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア さぞ イ かねて ウ たちまち エ なおさら

(二) A と B にそれぞれあてはまることばの組み合わせ

として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア A 翻訳 B 原作

イ A 原作 B 翻訳

ウ A 挨拶 B 演説

エ A 演説 B 挨拶

(三) ^② いい翻訳のための二条件 の内容を説明している一文を、これより前の文章中からそのまま抜き出して、始めの五字を書きなさい。

(四) この文章中の段落の関係を説明したものとして適当なものを、次のアからエまでのの中から一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 第二段落では、第一段落で述べた体験談を基に仮説を立てて検証することで、筆者独自の視点を提示している。

イ 第三段落では、第二段落で述べた主張の根拠となる複数の具体的な事実を挙げて、詳しく説明している。

ウ 第四段落では、第三段落までの筆者の考えとは異なる考えを示した上で、それに対する反論を述べている。

エ 第五段落では、第四段落までとは別の例を示して説明し、筆者の主張をさらに根拠づけている。

(五) 次のアからエまでの会話は、この文章を読んだ生徒五人が意見を述べ合ったものである。その内容が文章に書かれた筆者の考えに近いものを二つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア (Aさん)

森鷗外の小説は教科書にも載っていたので、読んだことがありますが、翻訳もしていたんですね。鷗外が翻訳した『即興詩人』が原作よりも優れていると評価された理由はどこにあるのでしょうか。私は、鷗外はドイツに留学してドイツ的な翻訳の伝統を身につけていたため、忠実な翻訳によって作品の魅力を十分に伝えることができたからではないかと思います。

イ (Bさん)

私は、同時通訳の仕事に興味をもっていますが、通訳するときは忠実に翻訳することが最も大切だと思っていました。でも筆者は、プラトンの翻訳におけるイギリスの伝統のように、原文に忠実でも表現に無理が生じて分かりにくくなるということが起こると述べています。ですから、まずは何を伝えたいかという大意を優先して訳すことが大切だと思いました。

ウ (Cさん)

私はピアノを習っていますが、自分なりに曲を解釈して演奏したとき、先生から譜面どおりでない点を指摘されました。自分のイメージを自由に表現しすぎて、譜面に忠実でない弾き方をしたのです。演奏も翻訳も、作品を正確に表現することと自分の解釈を表現することとの調和を図ることが大切なのではないでしょうか。

エ (Dさん)

森鷗外が活躍したのは、西洋の学問や文化が翻訳され、どんどん取り入れられていった明治・大正時代です。筆者は、昔から翻訳文化であったわが国には「いい翻訳のための二条件」を調和させる伝統があったために、鷗外の翻訳は名訳となり、日本文化もここまで発展してきたと考えているようです。

オ (Eさん)

この文章が書かれたのは四十年前ですが、今読んでも説得力があると感じました。特に、主観的に解釈した情報ばかりに接していると、とんでもないあやまちをおかすかもしれない、という指摘には重みを感じます。私たちが世界と向き合っていく上で、大切なことを見落とさないためには、「いい翻訳のための二条件」はとても参考になる視点だと思います。

二 次の(一)、(二)の問いに答えなさい。

(一) 次の①、②の文中の傍線部について、漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

① 世界中で生涯スポーツが奨励されている。

② 近くの海岸で初日の出をオガむ。

(二) 次の③の文中の傍線部と同じ漢字を用いるものを、あとのアからエまでの中から一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

③ 店員さんに、ホウソウ紙は必要ないことを伝えた。

ア 安全のため、乗船前に救命胴衣をソウチャクする。

イ 私の兄は、無線でソウジュウする飛行機を作っている。

ウ この岬では、千五百万年前のチソウを見ることが出来る。

エ 鉄道が開通し、大量に物資をユソウできるようになった。

三 次の文章を読んで、あとの(一)から(六)までの問いに答えなさい。

1

①

2

著作権に配慮して掲載を控えています

3

4

著作権に配慮して掲載を控えています

6

5

著作権に配慮して掲載を控えています

7

(井上智洋『人工知能と経済の未来 2030年雇用大崩壊』による)

著作権に配慮して掲載を控えています

(注)

- [1] [7]は段落符号である。
- インプット⇨入力すること。
- ホーキング博士⇨イギリスの理論物理学者。
- コーチング⇨指導・助言すること。
- マシンスペック⇨ここでは、コンピュータの性能のこと。
- 徒手空拳⇨自分の力以外に頼るものがないこと。
- ほごにする⇨なかつたことにする。

(一) ①

AIにとつてそれは困難です とあるが、その理由として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア AIによる革新的な創作行為が難しいのは、AIは、あらかじめインプットされたメロディやリズムをそのままつなぎ合わせることでしか曲を作れないからである。
- イ AIによる革新的な創作行為が難しいのは、AIには、まだ知られていない新しいメロディやリズムのパターンを生み出して人間を驚かせたいという欲望が存在しないからである。
- ウ AIによる革新的な創作行為が難しいのは、人間と同じ脳を持たないAIには、人間がどのようなパターンのもロディやリズムに心地良さを感じるかが分からないからである。
- エ AIによる革新的な創作行為が難しいのは、現在の技術では歴史上に存在した全てのメロディやリズムをAIにインプットすることができず、データが不足するからである。

(二)

筆者は第三段落で、「AI・ロボット」には獲得できない人間の身体知について述べている。それを要約して、七十字以上八十字以下で書きなさい。ただし、「身体感覚」、「総体」、「ひらめき」という三つのことばを全て使つて、「人間の身体知は、……」という書き出しで書くこと。三つのことばはどのような順序で使つてもよろしい。

(注意)

- ・ 句読点も一字に数えて、一字分のマスを使うこと。
- ・ 文は、一文でも、二文以上でもよい。
- ・ 次のページの枠を、下書きに使つてもよい。

(三)

から力までの中からそれぞれ選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア しかし イ ただし ウ それとも エ したがつて
- オ しかも カ なぜなら

(四)

次の文章は、第五段落以降に述べられている発想力の問題について、ある生徒が書いたものである。①から⑥までの文の中から、本文に書かれていない考えを含むものを一つ選んで、その番号を書きなさい。

① 私は、この文章を読んで、現在の将棋AIが膨大な棋譜を学習して新手を発想するようになっていくと知り、プロ棋士が将棋AIの足元にも及ばなくなる時代が本当に来るのだという実感をもちました。② しかし、現在の将棋AIは人間がプログラムしたものであり、負けそうになったときに将棋盤をひっくり返すような、プログラムの枠組みをはみ出す発想はしません。③ そうした発想を生み出す欲望自体をもっていないからです。④ もし、様々な欲望を自ら獲得するAIが開発されたとしても、人間と同じ身体をもたないA

Iが発想するアイデアは、人間にとって意味のあるものにはならないと思います。⑤むしろ、そのようなAIの抱く欲望は、人間に害を及ぼす危険性があるので、欲望を自ら獲得する生命的なAIの開発については、制限するべきだと思います。⑥そして、価値ある発明・発見や芸術的創作は、人間の仕事として残しておいてほしいと思います。

(五) 次の文は、本文中のどの段落について述べたものか。段落符号で答えなさい。

AIを搭載したロボットが身体感覚に関わる内容を人間に教えるのは難しいということを、具体的な例を用いて説明している。

(六) 次のアからオまでの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを二つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 現在のAIは、聴衆が本物のバッハの曲と区別できないような曲を作ることができるようになっており、その能力は革新的な創作行為が可能な段階にまできている。

イ 人間には多様な感性がある一方で感覚の通有性もあり、多くの人々が何に感動するかをアプリオリに知ることができるため、芸術的創作行為が成り立つ。

ウ 現在のロボットにはバットの振り方を人間にきめ細かく指導することは難しいが、人間の身体感覚がインプットされたロボットの登場により、まもなくそれは可能となる。

エ 将棋AIが人間を打ち負かしても、将棋を指すプログラムをコンピュータ自身が開発したわけではないため、いまだAIは人間の力が及ぶ範囲内にある。

オ AIが飛躍的な発想をして人間を感動させたり驚かせたりすることを望む声もあるが、AIがコンピュータのプログラムである限り、それは実現不可能である。

※ 左の枠は、(二)の下書きに使ってもよい。ただし、解答は必ず解答用紙に書くこと。

									人 間 の 身 体 知 は 、

四 次の漢文（書き下し文）を読んで、あとの(一)から(四)までの問いに答えなさい。（本文の……の左側は現代語訳です。）

鄭人、郷校に遊び、以て執政を論ず。然明、子産に謂ひて曰はく、鄭の国の人々が、村里 子産の政治を批評したの学校に集まつて 言うことには

「郷校を毀たば如何。」と。子産曰はく、「何ぞ為さん。夫人朝夕して 朝と夕に出仕して 廢止したらどうですか

退きて遊び、以て執政の善否を議す。其の善しとする所の者は、吾則ち勤務が終わる

之を行ひ、其の悪しとする所の者は、吾則ち之を改めん。是れ吾が師な

り。之を若何ぞ之を毀たん。我、忠善を以て怨みを損するを聞く。威を

真心をこめて善を行うことで人の恨みを減らすことができる

作して以て怨みを防ぐを聞かず。豈に遽かに止めしめざらんや。然れど

すぐに人々の批判をやめさせることはできないことではない

も猶ほ川を防ぐがごとし。大決の犯す所は、人を傷つくること必ず多し。

堤防が大きく切れると

吾救ふこと克はざるなり。小決して道かしむるに如かず。吾聞きて之救うことができない 得策である

を薬とするに如かざるなり。」と。（『春秋左氏伝』による）

(注) ○ 然明 春秋時代の鄭の官人。 ○ 子産 春秋時代の鄭の宰相。

(一) 何ぞ為さん の現代語訳として最も適当なものを、次のアからエ

の中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 政治を批評することにとどのような意味があるのか

イ どうして政治を批評した人々を罰しないのか

ウ どうして学校を廢止したりしようか

エ 学校を廢止するのはどのような理由からか

(二) 威を作して とあるが、これはどのような行動を表しているか。その説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 敬意を抱くこと

イ 権勢を振るうこと

ウ 実力者を頼ること

エ 意地を張ること

(三) 大決の犯す所は、人を傷つくること必ず多し とは、どのようなことをたとえているか。その説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 政治への不満が爆発して世の中が乱れ、人々を苦しめること

イ 政治的な不正がはびこり、善良な人々に損害を与えること

ウ 人々の対立を助長して疑心暗鬼にさせ、信頼関係を損なうこと

エ 大きな災害が起り、多くの人々が悲しみに暮れること

(四) 次のアからエまでのの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 子産は、人の恨みは川の水と同様に途絶えることがないと言った。

イ 子産は、政治に対する批判は自分の師というべきものと考えていた。

ウ 然明は、学校を廢止するという決定を子産が下したことに安心した。

エ 然明は、進言を薬として政治を改めようとしなかった子産に失望した。

(問題はこれで終わりです。)

一	(一)								※一 1点×3 2点×2 <input type="text"/>
	(二)								
	(三)								
	(四)								
	(五)	() ()							

二	(一)	①							※二 1点×3 <input type="text"/>
	(二)	③							

三	(一)								※三 1点×4 2点×2 <input type="text"/>
	(二)	人間の身体知は、							
	(三)	② () ③ ()							
	(四)								
	(五)								
	(六)	() ()							
	(七)								
	(八)								
	(九)								
	(十)								

80 70

四	(一)							※四 1点×4 <input type="text"/>
	(二)							
	(三)							
	(四)							

受検番号	第	番	得点	※
------	---	---	----	---

(注) ※印欄には何も書かないこと。

第1時限 国語正答 全日制課程 A

一	(一)	ア
	(二)	イ
	(三)	エ
	(四)	オ
	(五)	カ

二	(一)	①	しょうれい
	(二)	②	押 (む)
	(三)	③	ア

三	(一)	ウ
	(二)	人間の身体知は、スポーツ
	(三)	② (エ) ③ (オ)
	(四)	④
	(五)	⑤
	(六)	(イ) (エ)
	(七)	④
	(八)	⑤
	(九)	⑥
	(十)	(イ) (エ)

四	(一)	ウ
	(二)	イ
	(三)	ア
	(四)	イ